

第6回 今泉修さん (千葉大学)

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第6回目は、今泉修さん (千葉大学) にご執筆いただきました。

私が講師を務める授業では、心理学を学んだことのない学生が心理学の諸現象を知っていることに驚くことがあります。メディアでよく取り上げられることも影響しているのでしょう。それらの現象を日常体験にあてはめて考えるよう促すと、多くの学生が、日常の中から事例を見つけたり応用案を思いついたりします。

私の専門は実験心理学です。現在、自分の身体が自分に属しているような感覚など、身体的な自己感覚を研究しています。日常で当たり前になっている感覚と言えるかもしれませんが、その機構を知ろうとすれば奥が深く、私はこのテーマに魅かれます。当たり前のことに疑問を抱き、研究を突き進めたいと、学生の好奇心に力を分けてもらっています。

今泉修さん

【ご所属】 千葉大学大学院工学研究科デザイン科学専攻

【ご連絡先】 shuimaizumi@chiba-u.jp

【ホームページ】 <https://sites.google.com/site/shuimaizumi/>

【その他】 千葉大学に所属する若手を中心に、Cognitive Science Meeting という認知科学や心理学に関する研究会を行っています。およそ毎月1回、自由に議論をして交流を深めています。学外からの参加も大歓迎です。興味を持たれた方は下記のウェブサイトをご覧ください。

<https://sites.google.com/site/chibacsm/about>

次回のコラムリレーは、

三浦佳代子 (Kayoko MIURA) さん (富山大学)

にご執筆いただきます。